

質 問 通 告 書

令和7年7月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質問要旨	答弁要求者
1	沼 倉 憲 二 (5 0 分) 【一問一答】	1 エネルギー回収型一般廃棄物処理施設及び最終処分場について 人口減少が進み、ごみの分別・リサイクルが浸透する中で、今後のごみの処理量は減少するものと見込まれる (1) ごみ処理量の今後の見通しは (2) 減少すると見込まれるごみ処理量を施設整備費や運営費にどのように反映し対応しようとしているのか (3) 最終処分場の2次選定の15か所に入っていなかった千厩字北ノ沢ほか、その後の選定条件の変更で最終的に建設予定地となったが一連の経過を見ると選定手順に問題がなかったか、また最終決定の経過記録を公表すべきではないか (4) 建設予定地の千厩字北ノ沢ほかは、4か所の候補地の中で、運搬距離が最も長く、国道を経由し市街地を通るコースとなっているなど経費や沿線の地域への影響を考えると、長期にわたり住民の財政的、精神的な負担が大きいと考えるがどうか	管 理 者
		2 介護保険事業について (1) 介護保険事業は運営や事務を一部事務組合が共同処理しており、県内で同一の内容となっているが、介護保険料の軽減や独自のサービスの提供など当組合の独自の取組の内容と今後の対応をどのように考えているか (2) 特に重要と思われる介護人材の確保のためどのような対応をしているのか、また、見通しはどうか (3) 国では要介護度により利用できる介護サービスの見直しが議論されているが、利用者への影響はないか、また、地域包括支援センターやケアマネージャーはサービス見直しへどのような対応が見込まれるか	管 理 者

質 問 通 告 書

令和7年7月

番 号	質 問 議 員 (申告時間) 【質問方式】	質 問 要 旨	答 弁 要 求 者
2	齋 藤 禎 弘 (6 0 分) 【一問一答】	1 介護保険事業について 介護では、提供体制の崩壊という介護制度の危機が進行している ホームヘルパーなど介護人材が不足し、人手不足と経営悪化による介護事業所の撤退・廃業・倒産が続出しており、特に、政府が 2024 年度から訪問介護の基本報酬を削減したことが大打撃となっている 地方では、介護事業所が1か所もない市町村が出てきており、保険料・利用料を払っても、「人材・事業所がないため、介護サービスが受けられない」という危機的事態に陥っている (1) 介護保険料の滞納状況と差押処分について、保険料の段階別の状況について、近年の動向と併せて伺う (2) 介護施設や介護サービスの利用料を滞納した場合の組合としての支援策について伺う (3) 介護保険サービスと障害福祉サービスの両方を使う場合の併給調整の実態について伺う (4) 介護サービスが必要とされる住民に、必要とされるサービスや希望するサービスが提供されているのか組合の認識を伺う (5) 特別養護老人ホームの入所待機者の推移について伺う (6) 特別養護老人ホームの入所待機者の解消のため、施設を増設するべきと考えるが、組合の考えを伺う (7) 2024 年4月からの訪問介護の報酬削減による影響について、組合としてどのような認識か伺う (8) 管内の訪問介護事業者の収益状況について、組合の認識について伺う (9) 介護人材確保のため、募集に係る経費や、職員の賃金の補填などの支援策を取るべきと考えるが、いかがか伺う	管 理 者
3	千 葉 栄 生 (5 0 分) 【一問一答】	1 新最終処分場への対応について 建設予定地への住民理解を得て進めるとしているが、近隣住民から生活環境への不安が解消されていない、このまま建設されては困るなどの不安の声が寄せられている そこで、住民理解促進への取組について伺う (1) 住民理解を得るため施設構造や施設周辺（取付道路を含む）の見直しが必要と考えるが検討しているか (2) 住民との意見交換の開催を検討または予定されているか 2 一般廃棄物の減量化への取組について リサイクルや分別は、構成市町と連携して3Rに向けた意識啓発を図り、資源化と減量化を推進するとしていることから以下の点について伺う (1) 資源化とごみ減量化を推進する取組状況は (2) コンテナ等回収実証事業の検証状況は	管 理 者